

高校見学

2022. 7. 14

ちょうど一月ほど前になる。出張で、とある会議に参加した。席に着くと、前の座席には見慣れたお名前の名札が置いてあった。しばらくすると、その方はやってきた。久しぶりだった。以前は、同じ職場の同僚であり、今は、この校長室だよりを毎日欠かさず読んでくださっている方である。現在は、市内の高校の校長としてご活躍中のN校長である。

会議が終了した。駐車場に行くと、N校長の愛車が見当たらない。どうしたのかと聞いてみると、近いので歩いてきたとのことだった。「乗っていかない？」というわけで、N校長を乗せ、私の車はN校長への高校へと向かった。N校長は、私の車に乗ると、すぐにメーターを見てくれた。369755kmだった。さすがは、校長室だよりの読者である。

久しぶりの高校訪問である。学校要覧で先生方の顔写真を見ると、高校の同級生、小・中・高の同級生、元同僚など何人かの知り合いの先生の顔があった。

授業も見学させてもらった。1年生のクラスに行くと、高校の同級生が授業を行っていた。生徒は全員、ノートパソコンを出していた。そうである。今年度から高校では、ノートパソコンを使うようになった。その初期設定をしているところだった。私に気づくと、同級生は驚いていた。それはそうである。急に現れたのであるから。

体育館に行くと、2年生が勢ぞろいしていた。探究の時間だった。外部講師が熱弁をふるっていた。探究は高校の目玉である。3年生のクラスに顔を出すと、知り合いの元同僚が授業を行っていた。私が現れると、かなり驚いていた。動揺していた。それはそうである。黒板には、手軽なスクリーンがあった。これはいいと写真を撮らせてもらった。県立高校に一斉に整備されたものらしい。

久しぶりに、高校の授業を見たが、高校生もいいなあと感じた。小学校、中学校、高校と、それぞれにおもしろさがあり、やりがいもある。その一方で、むずかしさもある。中学校とは、流れている空気が違っていた。もちろん、小学校とは全く違う。以前は、高校の校長をしていたのだが、ちょっとだけ、その感覚が戻ったような気がした。

N校長は、私と同じ国語の教員である。国語のスペシャリストである。高校の先生らしい方である。高校教員としての専門性がにじみ出ている。やはり、高校では、まずは高い専門性が必要である。高校の国語の教科書を読んでいると、おもしろい。だからといって、高校生を前に、うまく授業ができるわけではない。単純に、読み物としておもしろい。そういえば、自分が高校生のときも読むのは好きだった。ただし、古典は別である。

N校長のおかげで、楽しいひと時を過ごすことができた。1年生の教室で、野田中学校の卒業生を探すことができなかつたのは残念であったが。機会があったら、また行ってみようと思う。